

マエアカヒトリ

Aloa lactinea (Cramer)
チョウ目・ヒトリガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内では戦前の記録があるのみで、今回の調査でも確認できていない。以前は害虫とされていたが、最近では全国的に絶滅が危惧されている。一方、埼玉県、神奈川県、静岡県等では徐々に増加しているとの報告もあり、本県でも生息状況の把握が必要である。

種の特徴

開張はオス 60 mm内外、メス 65 mm内外。翅は白で、前翅前縁は深い紅色を呈し、後翅には黒い斑点がある。腹部は橙黄色と黒色のトラ縞模様。食草はネギ、ダイズ、トウモロコシ、ミンパギ。成虫は5～10月に出現するとされる。

分 布

本州～九州、屋久島、沖縄に分布。県内では戦前に足羽郡和田村での記録があるのみである。

生息を脅かす要因

農薬散布が減少の原因とされる。

参考文献 福井県博物館 (1938)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、環境省 (2015)、岸田 (2011b)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○

カギモンハナオイアツバ

Cidariplura signata (Butler)
チョウ目・ヤガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

今回の調査では確認できず、県内では1961年以降記録がなく、生息情報は不足している。平野～里山の調査が不足しており、生息状況の把握が必要である。

種の特徴

開張 28～32 mm。翅は明るい褐色地で、かぎ状の横脈紋がある。雑木林の林縁や河川敷の草地に生息し、成虫は5～7月に出現。年1、2回発生すると考えられている。食草は不明である。

分 布

本州～九州、屋久島に分布。県内では大野市鳩ヶ湯、大野市池ヶ島、越前市池泉町、小浜市遠敷で記録がある。

生息を脅かす要因

平野～里山の土地造成、河川開発が本種の生存に脅威となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、井崎 (1971)、環境省 (2015)、岸田 (2011b)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○							○				○	

キシタアツバ

Hypena claripennis (Butler)
チョウ目・ヤガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

今回の調査では確認できず、県内では1994年以降記録がない。調査の継続により新たに生息地が見つかる可能性もある。草地環境の悪化等によって全国的に減少していることから、県内の生息状況の把握が必要である。

種の特徴

開張 30 mm内外。前翅の基部～中央の横線までは黄褐色で、その外方は暗紫灰色。後翅は淡黄色で、外縁黒色帯はほとんど発達しない。成虫は4～9月に出現。前蛹で越冬。食草はヤブマオである。

分 布

本州～九州、対馬に分布。県内では小浜市遠敷、大野市鳩ヶ湯、大野市池ヶ島、越前市池泉町、福井市で古い記録、敦賀市浦底、三国町安島で1990年代の記録がある。

生息を脅かす要因

土地造成、河川開発による平野部の草地の環境悪化が本種の生存に影響を与える。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、井崎 (1971)、環境省 (2015)、岸田 (2011b)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○	○					○	○				○	○